

《担当者名》 土田 正一郎(非) 阿部 幸弘(非) 下出 崇輝(非) 白坂 知彦(非)  
鈴木 和 suzuki\_w@hoku-iryo-u.ac.jp

### 【概要】

本講義では、ソーシャルワーカーとして精神的な困難にある人の支援をする上で大切な基礎知識を学ぶ。具体的には精神医学の歴史、生物学的基礎、成因と分類、主な症状、各種検査、そして主な精神障害（不安障害、統合失調症、気分障害、パーソナリティ障害、知的障害、発達障害等）について学びを深める。また、疾病構造の変化に伴う外来医療、在宅医療、入院医療の現状を統計的データとともに学ぶ。

### 【学修目標】

社会福祉、特に精神医療福祉領域における臨床理解を深めるために、主に以下の3点について学ぶ。

1. 精神医学の歴史を知った上で現代の精神医療の現状、今後の課題を理解する。
2. 精神現象を司る脳の基本的な構造や機能を理解する。
3. 主要な精神障害の特徴や、現在行われている治療・リハビリテーションについて理解する。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	代表的な精神疾患	器質性精神障害[F0]について理解し、説明することができる。	白坂
2	代表的な精神疾患	精神作用物質使用による精神および行動の障害[F1]について理解し、説明することができる。	白坂
3	代表的な精神疾患	統合失調症[F2]について理解し、説明することができる。	白坂
4	代表的な精神疾患	心理的発達の障害[F8]について理解し、説明することができる。	白坂
5	精神障害の理解	精神障害の概念を知る。 精神疾患の成因と分類を理解し、説明することができる。	鈴木
6	精神疾患の症状と診断	精神症状と状態像を知る。 診断の手順と方法を知り、列挙できる。 心理的検査と身体的検査を分類することができる。	鈴木
7	精神医学概論	精神医学、医療の歴史と現状について知る。	土田
8	精神医学概論	精神現象の生物学的基礎、こころについて知る。	土田
9	精神医学概論	精神現象の生物学的基礎、こころについて理解し、説明することができる。	土田
10	代表的な精神疾患	気分（感情）障害について理解し、説明することができる。	下出
11	代表的な精神疾患	児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害[F9]について理解し、説明することができる。	下出
12	代表的な精神疾患	パーソナリティ障害と行動の障害[F6]について理解し、説明することができる。	下出
13	代表的な精神疾患	精神遅滞（知的障害）[F7]について理解し、説明することができる。	下出
14	前半のまとめ	ここまでの授業についてグループワークを通じて理解を深め、各疾患の特徴等について説明することができる。（グループワーク）	鈴木
15	前半のまとめ	ここまでの授業についてグループワークを通じて理解を深め、各疾患の特徴等について説明することができる。（グループワーク）	鈴木
16	精神疾患の治療	精神科薬物療法について理解し、説明することができる。	下出

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
17	精神疾患の治療	電気けいれん療法などの身体療法、精神療法について理解し、説明することができる。 精神科リハビリテーションや環境・社会療法について理解し、説明することができる。	下出
18	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	疾病構造の変化や外来診療の方法について理解し、説明することができる。	土田
19	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	在宅医療（訪問診療・往診）や入院医療について理解し、説明することができる。	土田
20	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	当事者・家族との協同について理解し、説明することができる。	土田
21	精神医療と福祉および関係機関との連携の重要性	治療への導入に向けた支援や再発予防のための支援について理解し、説明することができる。	阿部
22	精神医療と福祉および関係機関との連携の重要性	治療への導入に向けた支援や再発予防のための支援について理解し、説明することができる。	阿部
23	世界での保健医療の現状	諸外国の精神医学の現状と課題について知り、説明することができる。	鈴木
24	世界での保健医療の現状	諸外国の精神医学についてグループワークを通じて理解を深め、自分の意見を述べることができる。（グループワーク）	鈴木
25	精神科治療における人権擁護	精神科治療と入院形態やインフォームドコンセントについて理解し、説明することができる。 精神科医療機関における隔離、拘束のあり方について理解し、説明することができる。	下出
26	精神科治療における人権擁護	精神科救急医療システムとその対象、移送制度による入院について理解し、説明することができる。	下出
27	後半のまとめ	ここまでの授業についてグループワークを通じて理解を深め、各疾患の特徴等について説明することができる。（グループワーク）	鈴木
28	後半のまとめ	ここまでの授業についてグループワークを通じて理解を深め、各疾患の特徴等について説明することができる。（グループワーク）	鈴木
29	前半・後半の振り返り	本科目の振り返りを行い、グループワーク等を通じて理解を深める。	鈴木
30	前半・後半の振り返り	本科目の振り返りを行い、グループワーク等を通じて理解を深める。	鈴木

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験 100%

#### 【教科書】

最新 精神保健福祉士養成講座 『1 精神医学と精神医療』（2021）中央法規

#### 【参考書】

その都度紹介する。

#### 【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための、「精神医学と精神医療」に該当する。

#### 【学修の準備】

- ・精神障害について、常日頃から広く興味関心を持ち、教科書や参考書、図書館の関係資料（新聞や雑誌、画像）を講義前、講義後に見ておくことが望まれる。
- ・予習は、次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと（80分）。
- ・復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3

【実務経験】

土田 正一郎（医師） 阿部 幸弘（医師） 下出 崇輝（医師） 白坂 知彦（医師） 鈴木 和（社会福祉士・精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉に関する専門職としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。